



下り終え、ラフティングガイドの皆さんと



日野川でラフティングを体験。豊かな自然を満喫する



おひさまひろばで小さな子と楽しく遊ぶ



(上) 歴史民俗資料館を見学



(下) 野菜の出荷後、話が弾む



小河内で小林さん(中)の野菜の出荷をお手伝い



人のつながりと温かいふれあい 都会では味わえない田舎暮らしに感激

▼慶応義塾大学鳥取日野研修（8月5日～9日）

町では、都市と地方の人材交流を基本に、都会育ちの若者が田舎暮らしを体験し知り得た地域の実情を、今後、社会人として生かすことを目的に、平成24年度から慶応義塾大学（東京）と研修事業を行っています。

今年は8月5日から9日までの4泊5日で商学部3年の橋詰怜さん、辻村豪志さん、江頭秋さん、木下冨香さんの4人が来町。安達商事の移動販売や野菜の出荷のお手伝い、日野川でラフティング体験、日野高校郷土芸能部の練習を見学するなど、多くの皆さんと交流を深めました。

移動販売車の視察では、2ト車の小ひまわり号に同行し、上菅地区を回りました。まず、保冷設備を備えた車内を見学。生鮮食料品をはじめ、充実した品ぞろえに驚いた様子で、「まるでコンビニのようだ」を目を丸くしました。また『欲しいものがあれば一品でもお電話ください』と書かれた張り紙を見つけ感心していました。そして買い物に訪れた高齢者と交流し、「移動販売車が来なければ生活できない。本当に助かる」という言葉に、この事業が中山間地に



日野高校郷土芸能部の練習を見学。部員の指導を受け神楽の舞に挑戦



オロチの衣装を体験



高田さん（前列左から2人目）宅で集う人々と交流



移動販売車を視察しながら買い物客に話を聞く

橋詰さんと辻村さんがホームステイ
でお世話になった坪倉敏さん（前列
中）と実関子さん（後列右）



まるで家族のように 心温まるホームステイ

江頭さんと木下さんがホームステイ
でお世話になった森田勝彦さん（右）
と順子さん（左）



必要な事業であることを肌で感じ
たようです。

また、小河内地区では、小林実
さん宅前で行われた早朝の野菜の
出荷を手伝いました。トラックへ
の積み込みが終わると、地域の皆
さんと野菜談義に花が咲き、日野
の野菜が都会で評判が良いことや
採れたて野菜を試食するなど、元
気をもたらった様子でした。

学生らは豊かな自然も満喫。町
のレジャーの一つラフティングを
体験しました。準備運動をしてい
ざ川へ向かう学生の表情は、緊張
と期待が感じられました。荒い流
れでボートから落ちたり、高い岩
場から川へ飛び込んだり、歓声を
上げながら笑顔で楽しみました。
学生の感想にもラフティングが良
い思い出になったようです。

今回も町内の家庭でホームステ
イを経験しました。橋詰さんと辻
村さんが中菅の坪倉敏さん宅に、
江頭さんと木下さんが根雨の森田
勝彦さん宅に泊まり、「川へ魚を
取りに行った」「星がきれいだった」と満喫。気さくにふれあうこ
とができ、都会では体験できない
人のつながりと温かさを感じ、感
激して日野町を後にしました。